

甲突川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,327箇所
土砂災害特別警戒区域 : 19,778箇所
(令和5年3月末時点)

土砂災害防災訓練



垂水市

土砂災害に関する
出前講座



喜界町立早町小学校



志布志市



南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表基準を見直し、令和4年11月24日から新たな基準により運用します。

土砂災害警戒情報の基準が新しくなります！

土砂災害警戒情報

●鹿児島県と鹿児島地方気象台と共同で、土砂災害の発生の危険性が高まったと判断した場合に、土砂災害警戒情報を発表しています。

土砂災害情報発表の考え方

●土砂災害がいつ起きてもおかないエリア
2時間後予測
1時間後予測

【発表のタイミング】
避難に必要な時間を考慮し、土砂災害警戒情報の発表基準に達すると予想される概ね2時間前に発表する。

基準の見直しポイント

- 近年の降雨データ及び災害実績を反映（平成18年～令和2年）
- 従来の5kmメッシュ毎の基準から1kmメッシュ毎の基準に細分化することでより細やかな地域単位で危険度を判定
- 定期的に人が活動していないなど、重大な被害を及ぼす土砂災害の危険性が認められないメッシュを土砂災害警戒情報の判定から除外

鹿児島県河川砂防情報システム



鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

かごしまコンパクトなまちづくりプラン（立地適正化計画）【鹿児島市】

- 改正都市再生特別措置法に基づき、H29.3月に「かごしまコンパクトなまちづくりプラン」（立地適正化計画）を策定
- 令和5年度に関係法令の改正等を踏まえ、プランの見直しを予定

かごしまコンパクトなまちづくりプラン （立地適正化計画）



本市では、人口減少と少子高齢化が進むなか、誰もが安心、快適に生活できるまちを実現するため、「住まい」や「日常生活に必要な施設（商業施設、医療施設、金融施設、公共施設等）」がまとまって立地し、バスなどの公共交通によりこれらの施設に行くことができるコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考えでまちづくりを進めることを目的とした『かごしまコンパクトなまちづくりプラン（立地適正化計画）』を策定しました。

立地適正化計画について

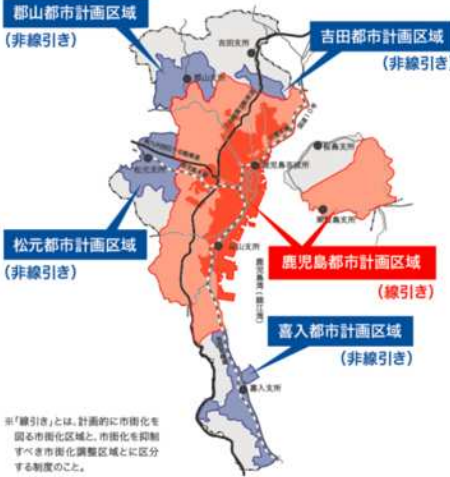
- 平成26年に都市再生特別措置法が改正され、コンパクトなまちづくりを進めていくための「立地適正化計画」、市町村が策定できるようになりました。
- 立地適正化計画には、居住を誘導する区域や、日常生活に必要な施設を誘導する区域などを定めます。
- 本市の立地適正化計画は「かごしまコンパクトなまちづくりプラン」という名称で進めています。

鹿 児 島 市 平成29年3月

4 かごしまコンパクトなまちづくりプランの概要

プランの対象区域は？

本市には鹿児島、吉田、松元、郡山、喜入都市計画区域の5つの都市計画区域がありますが、これらの全てを対象区域とします。（都市計画区域外はプランの対象区域になりません。）



※「線引き」とは、計画的に市街化を促す市街化区域と、市街化を抑制する市街化調整区域とに区分する制度のこと。

プランに定めた内容は？

- 本市の現状や将来人口の推計に基づくまちづくりの基本的方針
- 一定の人口密度を維持し、日常生活に必要な施設や地域コミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導する居住誘導区域
- 日常生活に必要な商業、医療、金融施設を誘導する都市機能誘導区域
- プランの目標年次と目標値（人口密度）
- 居住や都市機能を誘導するための施策（誘導施策）
- 都市機能誘導区域に誘導すべき施設（誘導施設）



※策定以降は、概ね5年ごとに調査、分析及び評価を行い、必要に応じて見直しを検討

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた居住の誘導	立地適正化計画の見直し	鹿児島市			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

土地区画整理事業（郡山中央土地区画整理事業）の実施【鹿児島市】

○道路・公園等の公共施設の整備と同時に地区内を流れる二級河川甲突川等の改修を行い、水害等災害に強い健全で快適な市街地の形成と宅地の利用増進を図る。

郡山都市計画事業 郡山中央土地区画整理事業 設計図



■整備状況(河川改修後)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地区画整理事業の実施	河川改修と連携した土地区画整理事業の推進	鹿児島市	▶		

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

雨水ポンプ場の耐水化計画策定・実施【鹿児島市】

- 雨水ポンプ場の耐水化計画の策定
- 雨水ポンプ場の耐水化工事の実施

近年、全国各地で豪雨等による水害が頻発し、甚大な被害が発生している。令和元年の東日本台風では、河川からの氾濫や内水氾濫により下水道施設が浸水し、市民生活に多大な影響を与えた。これらを踏まえ、令和3年度までに被災時のリスクの高い下水道施設について対策浸水深や対策箇所の優先順位等を明らかにした計画を策定し、5年程度で受変電設備やポンプ設備等の耐水化を完了する。

甲突川流域の雨水ポンプ場

甲突第1雨水ポンプ場

対策イメージ

対策水位

対策前 対策後

(出典: 下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	雨水ポンプ場の耐水化	・耐水化計画策定 ・耐水化工事	鹿児島市	▶		

甲突川水系流域治水プロジェクト

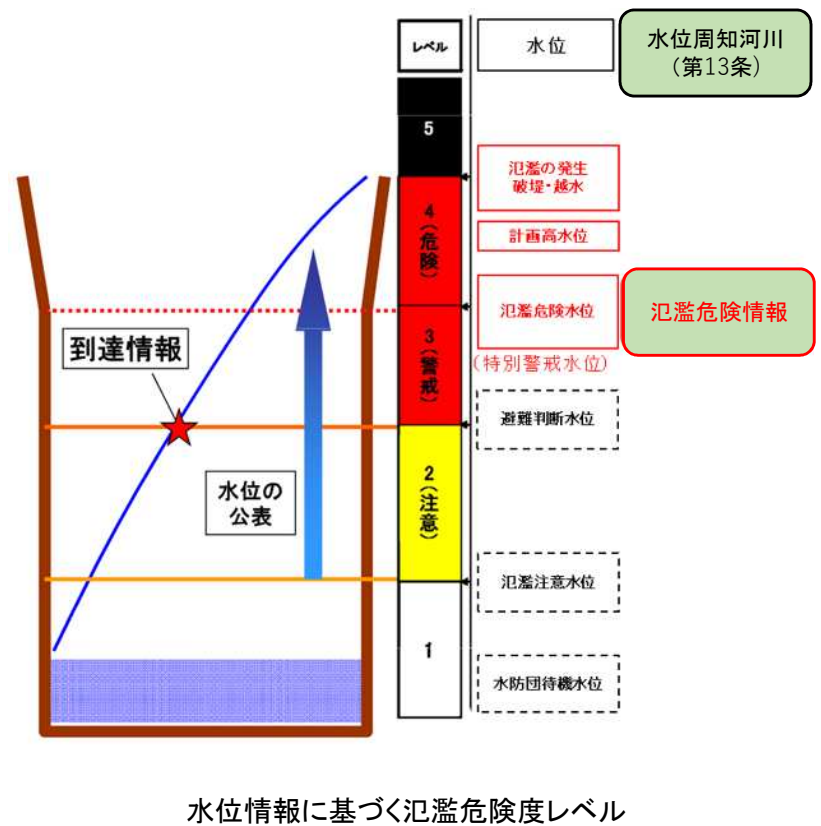
被害の軽減， 早期復旧・復興のための対策

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位周知の実施【鹿児島県】

- 洪水により相当な損害を生じるおそれがある河川として、甲突川水系甲突川を水位周知河川に指定している。
- 河川の水位が、豪雨等により増水してはん濫危険水位に達したときは、当該河川の水位又は流量を水防管理者に通知する。
- 気象情報と同様に報道機関にも通知されるほか、鹿児島県河川砂防情報システムでも公表し、住民の避難行動に資する。



河川名	基準地点	水防待機水位 (m)	はん濫注意水位 (m) レベル2水位	避難判断水位 (m) レベル3水位	はん濫危険水位 (m) レベル4水位
甲突川	宮山橋	1.63	1.78	1.89	2.40
	塚田橋	3.02	3.34	3.55	4.16
	岩崎橋	4.19	4.78	5.04	5.44

基準水位

鹿児島県河川砂防情報システム

水防警報発令状況

2024年07月30日15時40分現在

水位一覧表(全県)

2024年07月30日15時40分現在

河川名	橋名	所在地	最新観測時刻	観測値				河川水位 [m]	水かさ (のり分)	水かさ増減	土砂増減	
				30分	1時間	3時間	1日					
甲突川	宮山橋	鹿児島市	2024/07/30 15:50	4.11	4.78	5.04	2.40	↑	1.87	2.30	2.30	
甲突川	塚田橋	鹿児島市	2024/07/30 16:40	3.02	3.34	3.55	4.16	→	1.49	1.09	0.82	
甲突川	岩崎橋	鹿児島市	2024/07/30 16:40	1.61	1.78	1.89	2.40	→	1.05	1.10	2.91	4.11
甲突川	宮山橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	2.29	2.00	2.00	1.10	→	1.55	1.10	4.96	4.01
甲突川	塚田橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	1.11	1.19	2.01	1.10	→	1.23	1.10	4.06	2.43
甲突川	岩崎橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	2.21	2.37	2.01	1.10	→	1.41	1.10	5.16	1.10
甲突川	宮山橋	鹿児島市	2024/07/30 16:40	2.29	2.25	2.01	1.10	→	1.62	1.10	6.06	1.20
甲突川	塚田橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	4.11	4.40	4.01	2.10	↑	1.97	1.11	6.81	1.81
甲突川	岩崎橋	鹿児島市	2024/07/30 16:40	4.47	4.17	4.01	1.10	→	1.51	1.10	7.96	1.11
甲突川	宮山橋	鹿児島市	2024/07/30 16:40	4.41	3.40	4.11	1.10	→	1.77	1.10	9.56	1.01
甲突川	塚田橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	2.11	2.30	2.01	1.10	↑	1.54	-0.11	5.56	1.51
甲突川	岩崎橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	5.51	4.50	4.01	1.10	↓	1.29	-0.41	8.16	1.01
甲突川	宮山橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	2.81	3.30	4.21	4.01	→	1.61	1.10	7.16	2.01
甲突川	塚田橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	1.11	4.40	4.01	1.10	↑	1.61	1.11	11.01	1.10
甲突川	岩崎橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	1.21	1.26	1.01	1.10	→	-0.26	1.10	6.91	4.01
甲突川	宮山橋	鹿児島市	2024/07/30 16:50	2.91	4.26	4.17	1.10	↓	1.49	-0.11	7.91	2.91

鹿児島県河川砂防情報システム

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	水位周知の実施	鹿児島県			

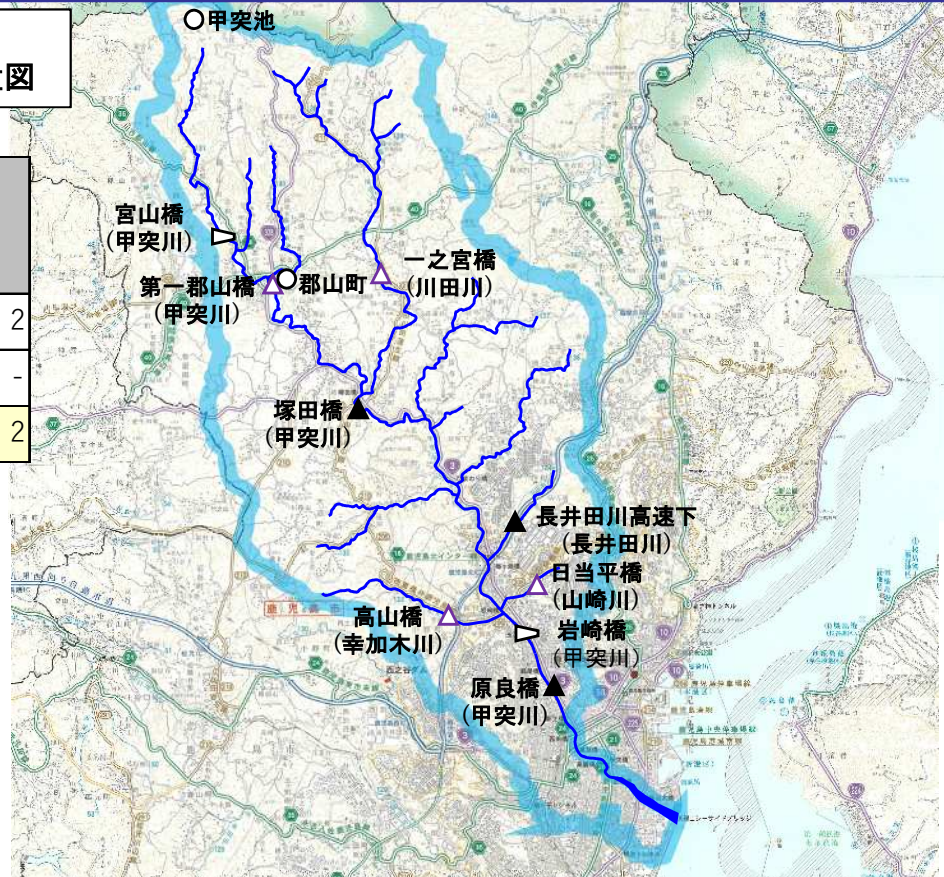
甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供【鹿児島県、気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。下図のように甲突川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

甲突川流域における
水位計・監視カメラ・雨量計の位置図



危機管理型水位計

甲突川水系内に設置されている各施設数 (R3.3末時点)

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	5	4	2	2
気象庁	-	-	-	-
合計	5	4	2	2



簡易型河川監視カメラ



凡例

- ▷ 水位計, カメラ
- ▲ 水位計
- △ 危機管理型水位計
- 雨量計(県)
- 雨量計(気象庁)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置, 防災情報の提供	鹿児島県, 気象庁			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報(洪水浸水想定区域や浸水実績)について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表(R3.2月末より運用)

トップページ

洪水浸水想定区域

トップページ(拡大)

河川名: 新川
被災年月日: 平成18年7月5～6日
被災箇所: 鹿児島市唐湊地内
被災原因: 溢水
[浸水実績情報](#)

新川水系 新川
・洪水浸水想定区域(新川)
・公表図面

凡例
 洪水浸水想定区域
 選択中の洪水浸水想定区域
 浸水実績

それぞれの枠内をクリックで
詳細メニューの表示

浸水実績等の周知

河川名	新川	鹿児島市唐湊
被災年月日	平成18年7月5～6日(露営)	被災箇所の市町村等は、当時の市町村名となっております。 *浸水範囲、範囲等は、被災時の現地調査結果に基づいたものです。
被災箇所	鹿児島市唐湊地内	
浸水原因	溢水	

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県			

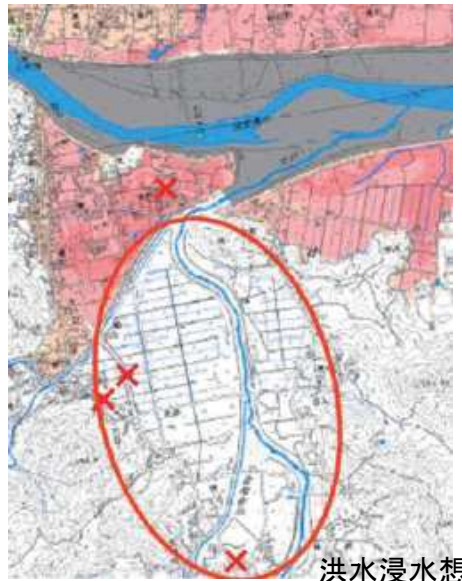
甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

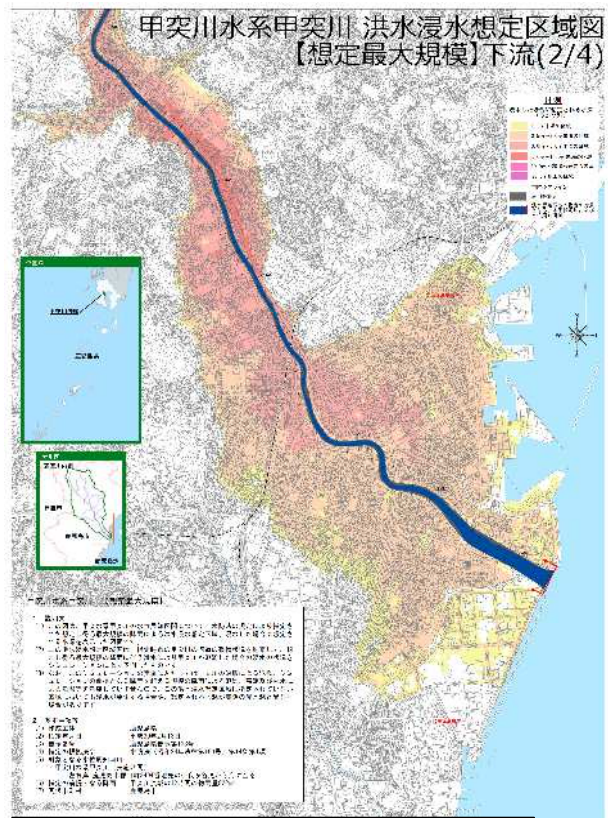
- ・ 現在の水防法では、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており、設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
- ・ 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・ 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)

浸水想定区域図(川内河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県		→	

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援【鹿児島県】

逃げキッド®

マイ・タイムライン 検討ツール

余裕を持って安全に避難するために。マイ・タイムラインをつくって、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

マイ・タイムラインがあると / **マイ・タイムラインがないとき**

3日前: 台風発生したんだけど... / 雨が降ってきた... / 川の水位が上がってきたよ...

1日前: 避難勧告が完了されました... / 避難勧告が切れました... / 避難勧告が切れました... / 避難勧告が切れました...

5日前: 避難勧告が切れました... / 避難勧告が切れました... / 避難勧告が切れました... / 避難勧告が切れました...

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村 地区 家 マイ・タイムライン 作成年月日 年 月 日

5～3日前: 行政から知らせられる情報... 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

2日前: 台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる

1日前: 雨が降って、川の水がだんだん増える

半日前: 激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる

5日前: 川の水位がいっぱいであふれそう！

主なそなえ

そなえの例

- 台風の今後の動向を調べる
- 1週間の薬を病院に受け取りに行く
- 家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
- テレビ、インターネット、携帯電話等で、雨や川の様子に注意
- 避難する時に持って行くものを準備する
- 家族と連絡を取りあう
- 休んでいるところや上流の雨量を調べ始める
- 携帯電話の充電
- サイードマップで避難場所、避難手段を再確認
- 川の水位を調べ始める
- 通行止め情報がないか、インターネットで確認
- 携帯電話等で避難準備情報の受信
- 避難しやすい服装に着替える
- 携帯電話等で避難勧告

水位等の状況を把握して「避難」する時間に臨んで避難行動を開始する時期

最悪の安全を確保する

今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



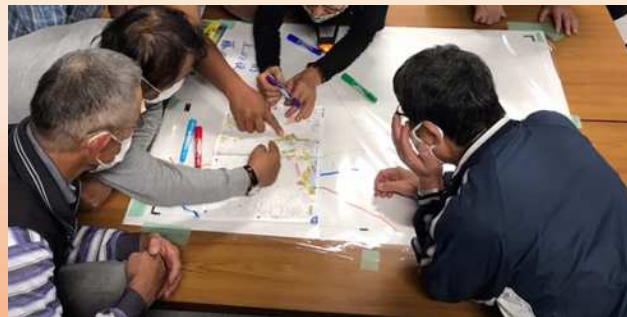
講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成

D I G（災害図上訓練）の様子



防災研修センターによる出前講座

非常持出品について考えよう！！



異なる重さのリュックを背負ってもらい歩いてもらいました



通のポイント
1 必要な物
水・食糧
2 自分にとって必要な物
鍵・財布・現金類
3 あると便利な物
ラジオ・懐中電灯
要は結構多い1～2月程度



てく・てく歩こう～

参加人数
240人

その他の取組

- ・ MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・ 防災・お天気フェア
- ・ 防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修、出前講座等	鹿児島県			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県，関係市】

個別避難計画作成

- 市町村においては、災害対策基本法に基づき、避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており、本県では、全市町村が作成済となっている。
- 当該名簿については、本人の同意を得るなどし、市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており、市町村において取り組んでいるところ。
- また、市町村は、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、個別避難計画を作成することとしている。
- 県では、引き続き、市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして、名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- これらを踏まえ、市の努力義務となっている個別避難計画の作成について、流域治水プロジェクトにおいても、あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。



避難行動要支援者が災害時に避難する際のイメージ
(内閣府資料より)

個別避難計画の作成状況（令和4年1月1日現在）

	避難行動要支援者名簿に記載のある要支援者数	作成済
鹿児島市	13,346	5,364

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	個別避難計画策定支援	鹿児島県 関係自治体等	▶		

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

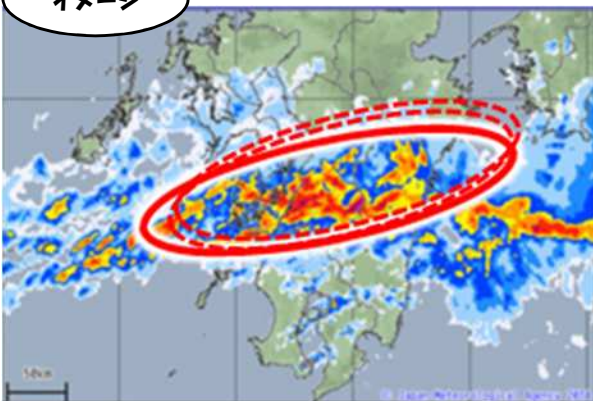
令和5年5月25日13時～

顕著な大雨に関する気象情報を「より早く」提供します

現在は、線状降水帯の**発生**をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しているところ、予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指し、**最大30分程度前倒して**「顕著な大雨に関する気象情報」を発表。

同時に気象庁ホームページに線状降水帯の発生範囲を表示

イメージ



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）

大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分後の解析）

令和5年2月16日運用開始

洪水に関する危険度情報の一体的発信

「国管理河川の洪水の危険度分布※」（水害リスクライン）

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」（洪水キキクル）

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民がそれぞれの詳細なリスク情報を洪水キキクルページ（気象庁HP）で一元的に確認可能に

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

気象庁 eラーニング教材 「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



大雨の時にどう逃げる

自らの命は自らが守る

「避難」の基本

身近な災害リスクを理解し、的確な避難行動をとる

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分

大雨の時にどう逃げる

個人ワーク

あなたの「避難」

ワークシートを使って避難行動を整理しよう

自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



大雨の時にどう逃げる

グループワーク

みんなで意見交換

誤解や、疑問、不安を解消しよう

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災研修, 出前講座等	気象庁			

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



防災教育支援ポータル

- 10分で防災 -



福岡管区気象台HP (教材はこちら)

<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>

10分で防災

- **短時間**で命を守る防災の学習
- **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能
- **4現象** (台風、大雨、地震・津波、火山) の教材を用意

ステップ1 考える①

ワークシート

台風が近づいたときに、
どんなことがおきると思いますか？

何が起きる	
ここに色々書いてください!	

ステップ1 考える②

ワークシート

台風による災害にあわないために、
どういう行動をとりますか？

何が起きる	どういう行動をする
	今度は、ここに書いてください!

ステップ2 話し合う

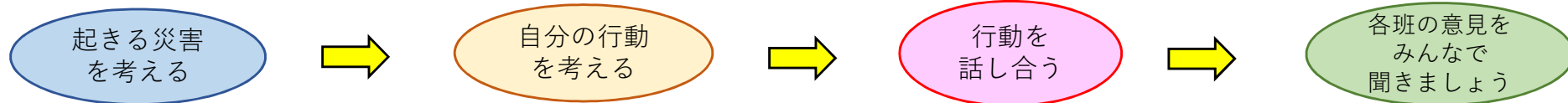
他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す

台風が近づいてくると、何が起きると思いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる 雨がたくさんふる 土砂くずれ 高潮 強風	安全なところにひびくする。 進路などはあくしおく。 水、食べものを準備しておく。 高いところへいく。

ステップ3 振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所に変わることがあります。「自分の身は自分で守る」という意識を身につけましょう。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	➔		

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災リーフレットの作成・配布・周知【鹿児島市】

- 災害時における市民の適切な避難行動の理解促進を図るため、出水期に備え、県により新たに指定された稲荷川(上流域)、西牟田川、和田川、木之下川、貝底川の洪水浸水想定区域や避難行動のポイントなどを掲載した防災リーフレットを作成し、市内の全世帯へ配布(R4. 6月)
- あわせて上記の河川について、防災ガイドマップ(PDFデータ)やかごしまiマップ等のハザードマップを更新し、周知を実施

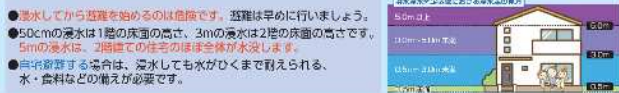
02 災害危険区域(洪水浸水想定区域、土砂災害(特別)警戒区域)を知っていますか?

「鹿児島市防災ガイドマップ」や「かごしまiマップ」で、自宅や職場、学校周辺の災害危険区域等を確認しましょう。
 ※向の降り方によっては、洪水浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域等に指定されていない場所においても、洪水やがけ崩れなどの災害が発生する可能性がありますので、ご注意ください。

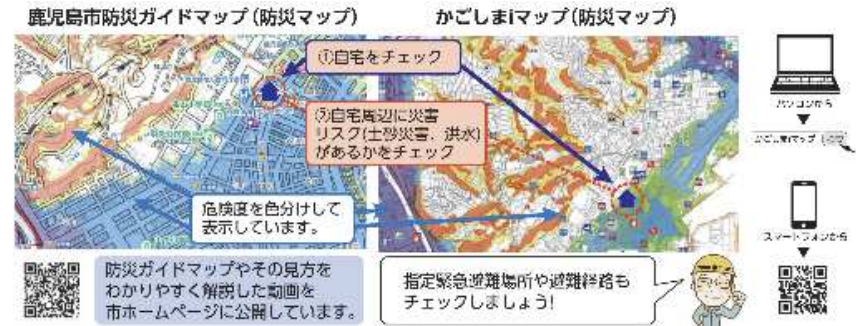
【洪水浸水想定区域】
 県により、新たに稲荷川(上流域)、西牟田川、和田川、木之下川、貝底川の5河川に洪水浸水想定区域が指定されました。
 ※新たに洪水浸水想定区域を掲載。その他の危険区域等は、「防災ガイドマップ」や「かごしまiマップ」でご確認ください。



このほか稲荷川(下流域)、甲突川、新川、糸田川にも洪水浸水想定区域が指定されています。
 浸水した場合に想定される高さ(浸水深)など、自宅が安全かどうかを確認しましょう。



防災リーフレット (R4年6月配布)



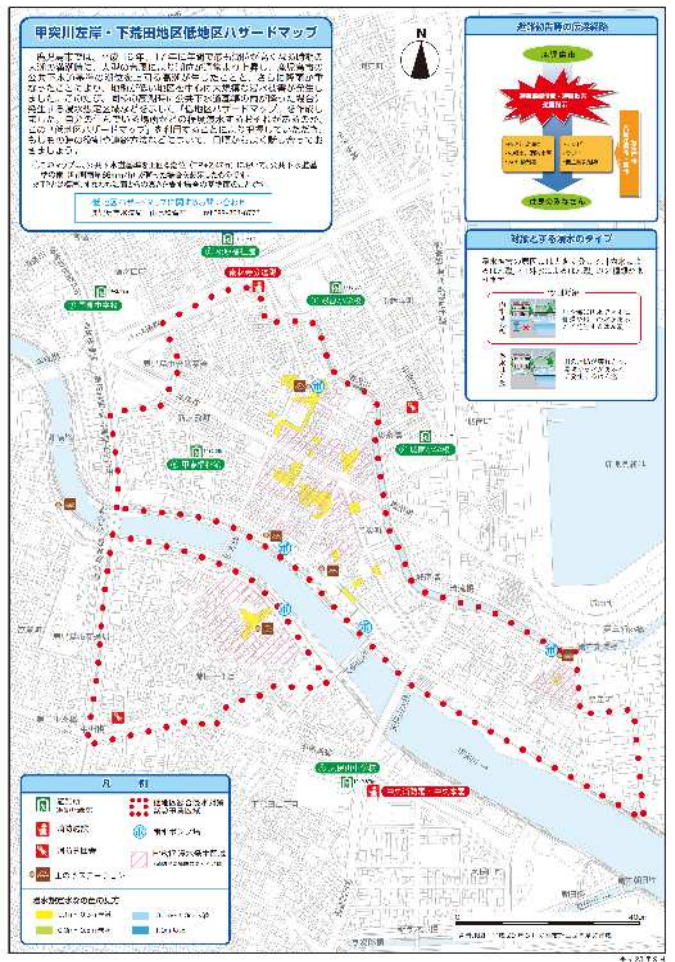
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	防災リーフレットの作成等	鹿児島市		▶	

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

低地区ハザードマップの周知【鹿児島市】

○低地区ハザードマップを活用し、低地区における浸水リスクや対策を周知



日頃から注意すること

● 雨に関する注意

このマップの対象流域は、平成17年台風14号が記録した際の1時間当たりの降水量28mmを上回る鹿児島市公共下水道基準788mm、外水は当時の最高水位TP+2.47mを想定しています。

1時間雨量	予想被害	被害イメージ
10～20mm	水物移動	フローリング
20～30mm	家具倒壊	破損
30～50mm	家具倒壊	1階が水没する可能性が高まる
50～80mm	家具倒壊	2階以下が水没
80mm以上	建物倒壊	高さにより浸水被害が拡大

上記に数字が示す降雨の降り方を参考に、浸水リスクを自らから入手し、注意の記録を取らしましょう。

● 防災意識の向上

いざという時に速やかに行動できるように、自分の住んでいる場所がどの程度浸水するおそれがあるのか把握しておきましょう。
実際の浸水状況は浸水条件の違いにより、必ずしもこのマップとは一致しない場合もありますから、雨の降り方や屋外の様子に充分注意しましょう。

● 避難時の指定避難場所

このマップ(表裏)の凡例を参考に、お近くの指定避難所をご確認ください。

番号	施設名	住所
①	西原小学校	西原町2-10
②	西原小学校	西原町1-1
③	西原小学校	西原町2-10
④	西原小学校	西原町2-10
⑤	西原小学校	西原町2-10

※自主的に避難される場合は、あらかじめ地域福祉課または各支所へご連絡ください。指定避難所を確保します。
電話: 099-216-1244

● 防災情報の入手方法

このマップのダウンロードや印刷は、鹿児島市防災課のウェブサイト、スマートフォンアプリ「防災マップ」から可能です。
ウェブサイト: <http://www.city.kagoshima.lg.jp/> 「防災マップ」

● 鹿児島市防災情報システム

携帯電話やスマートフォンから、このマップの最新情報を入手できます。
<http://www.city.kagoshima.lg.jp/> 防災情報

● 日頃から注意すること

○ 普段からできる(注意)すること

- 家の周りの排水の点検をしましょう。
雨水排水装置は、家の周りの水縁(粗渠)にゴミや土砂が溜まり、雨水が流れにくくなって発生することがあります。粗渠等について、雨が降る状態であるか確認しておきましょう。
- 家の軒先、増設の階には以下の点にご留意下さい。
浸水の発生する低地区においては、「敷地高のかさ上げ」等により浸水被害を軽減する工事を行うべきです。また、地下足袋を設置する場合は、直近の出入り口を設けない、設ける場合は出入口を周辺より高くしましょう。
- 市では「個人住宅用「雨水貯留・浸透機能」の設置を助成しています。
鹿児島市では、雨水が一度に川や粗渠などに流れ込み溢れることを防ぐために、市民のみならず事業者への「雨水貯留・浸透機能」の設置を推進しており、雨水貯留・浸透施設を設置される方に対して助成を行っています。詳細については以下のホームページをご覧ください。

● 個人住宅用「雨水貯留・浸透機能」の設置助成のご案内
<http://www.city.kagoshima.lg.jp/infocenter/infocenter/infocenter.html>

● 避難時に注意すること

● 避難時の指定避難場所

● 適切な避難行動

● 避難時には以下の点に注意しましょう。

1. 避難時は、必ず「防災マップ」を確認し、避難経路を確認してください。

2. 避難時は、必ず「防災マップ」を確認し、避難経路を確認してください。

3. 避難時は、必ず「防災マップ」を確認し、避難経路を確認してください。

4. 避難時は、必ず「防災マップ」を確認し、避難経路を確認してください。

5. 避難時は、必ず「防災マップ」を確認し、避難経路を確認してください。

6. 避難時は、必ず「防災マップ」を確認し、避難経路を確認してください。

● 避難時の緊急時連絡先を記入しておきましょう。

氏名	電話番号	備考

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	低地区ハザードマップの周知	鹿児島市			▶

甲突川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

雨水出水浸水想定区域図の作成【鹿児島市】

○流域治水関連法の改正に伴い、想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域図を作成し、適切な雨水出水浸水リスクを提供

雨水出水浸水想定区域の指定対象の拡大（施行済）

水防法第14条の2

- 現行、地下街を有する地区での適用を想定した水位周知下水道について、「想定し得る最大規模の降雨」に対応した雨水出水浸水想定区域の指定対象とし、避難経路確保やハザードマップ作成等の避難警戒措置を講じているが、近年、地下街以外でも浸水被害が頻発している。
- そのため、浸水対策を目的として整備された下水道については、そのすべてにおいて、雨水出水浸水想定区域の指定対象とする等、適切な雨水出水浸水リスクの提供が必要。



【雨水出水浸水想定区域の指定対象を拡大】

原則、下水道による浸水対策を実施する全ての団体において、想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域を指定することとする。

※氾濫範囲に防護対象が含まれないことが明らかな区間は対象外

(出典：流域治水関連法の改正(下水道関係)説明会(6ヵ月以内施行分)資料)



雨水出水浸水想定区域図の作成

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	雨水出水浸水想定区域図の作成	鹿児島市			